



しもながや

令和4年 1月7日 発行

横浜市立下永谷小学校

待てば海路の日和あり

校長 鈴木 陽一

あけましておめでとうございます。元旦は、身が引き締まるような寒さでしたが、穏やかな晴れの日が続き、すがすがしい気持ちでの新年の始まりとなりました。

しかしながら、三が日明けから感染症の感染状況が悪くなってきたという報道が続いています。いわゆる第6波の始まりではないかと言われています。予想されていたとはいえ、もう感染症の波が来ないでほしいと願っていただけに残念です。

思い起こすと、一昨年この時期から感染症の影響が始まり2年がたちました。学校現場では、休校や分散登校もあった中、感染対策をできるだけ行い、教育活動を進める状況が続いています。

本校は、近隣の小学校に比べ、児童数が圧倒的に多く、また、校舎や校庭も決して大きくないうえ、水道設備等も決して多いとはいえ、教室の作りなどは換気がよいとはいえません。また、人数制限のため校外学習の見学場所が限られてしまったり、児童数が多いゆえに、運動会を分散で行ったりするなど、制約が多い中での教育活動が続いています。緊急事態宣言やまん延防止対策などのため、保護者の方のご来校も制限させていただきました。そんな中でも、行事や学習を縮小や変更をしながらも今このときしか経験できないことをできる限り工夫して行ってきています。子どもたちは、常に「見学に行けてよい学習ができた」「運動会ができてよかった」と前向きに捉えて、日々の学習に取り組んでいます。保護者の皆様には、このような状況をご理解いただきご協力いただいていることで、子どもたちが前向きに、取り組んでいると感じています。また、毎日の健康観察や、体調不良の際の早めの休養や、PCR 検査などのご報告をきちんと行っていただいているおかげか、校内での感染症の広がりがなくここまでは無事教育活動を進めることができていると思います。本当にありがとうございます。

「待てば海路の日和あり」といいます。大変なときがあっても、必ずよい方向に向かうことを信じ、我々自身がやるべきことをきちんと行い、気持ちを強くもち、日々を大切に過ごしていきたいものです。

教職員一同、子どもたちの健やかな成長と笑顔のため、今年も尽力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

改めまして、保護者の皆様、地域の皆様にとってよい年になることをお祈り申し上げます。

